2024年9月
フードバンクいるま 活動報告

【ホームページ】

「もったいない」を「ありがとう」へ

9月 食品寄贈受付実績 3,565.584kg ≪配布延人数 619人≫
9月 寄付金・募金合計 ￥42,465 （内ミルク基金 ￥1,100）

主な寄贈団体

スーパーDステーション　飯能資材(株)
(一社)日本ショーファー協会　田中畜産
入間ブルーベリー園　入間ケーブルテレビ(株)
(株)生活クラブたまご　宮寺狭山自治会
(株)マルハン入間店　埼玉トヨペット(株)
生活協同組合コープみらい

【生活協同組合コープみらい】 今月もお米を300kgいただきました。

寄付金内訳

（順不同・敬称略）

(医)永仁会 入間ハート病院	￥10,000
西武狭山グリーンヒル	￥10,000
入間市役所フードドライブ	￥6,100
岡本仍子	￥5,000
野呂由美子	￥5,000
いわさきいつも祭り	￥3,165
高田雅之	￥2,000
入間市役所フードドライブ（ミルク基金）	￥1,100
匿名	￥100

埼玉トヨペット(株)

3店舗から1,433.46kgの災害用備蓄品をいただきました。

【武蔵藤沢支店】

【レクサス所沢店】

【入間支店】

記載以外にも、日頃多くの団体や個人の方々にご支援ご協力をいただいています。

フードドライブ拠点情報

コープみらい武蔵藤沢店	101.70kg
(株)ファミリーマート(10店舗)	63.75kg
西武狭山グリーンヒル	53.45kg
(福)入間市社会福祉協議会	43.90kg
明治安田生命	31.15kg
ウエルシア薬局(株)(2店舗)	21.70kg
武蔵豊岡教会	8.65kg
入間ガス(株)	6.70kg
(福)入間福祉会	4.55kg
日本羽毛製造(株)	3.95kg
よしの接骨院	2.30kg
生活クラブくらぶルームあいび～	1.57kg
扇台福祉作業所	1.40kg

【フードドライブ 新拠点情報】

居宅介護支援事業所「里の家」
入間市仏子284-10

よしの接骨院
入間市扇町屋4-3-10

【里の家】

【よしの接骨院】

主な人的支援団体

(福)靖和会入間つつじの園

【フードドライブ情報】【私たちスタッフが決まった日に直接お預かりします】

入間市役所　9月18日(水) ※毎月第３水曜
食料品 18.45kg　寄付金 ￥7,200 (内ミルク基金￥1,100)

《寄贈者の声》　広報で知り、「私にはこんなことしかできないので」と品物を持って来てくださいました。

イオンスタイル入間店　9月11日(木) ※毎月11日　食料品 12.75kg

入間市リサイクルプラザ　9月8日(日) ※毎月第2日曜　食料品 1.90kg

【イオンスタイル入間店】

トピックス

い・つ・も 祭

9月7日(土)フードドライブ拠点として、フードバンクいるまの活動当初から協力してくださっている(株)いわさきの第15回 い・つ・も祭に参加。
フードバンクいるまもPRができました。

餃子弁当

8月に(株)王将フードサービス（餃子の王将）から餃子弁当250食の提供がありました。
希望された団体は463号バイパス所沢林店から直接受け取っていただきました。

・子どもたちの声
「好きな物ばかり入ってる」「餃子大好き！サイコー！」

・保護者の方の声
「一緒に食べられるのがいいですね」
「夏休みなので助かります」

地区パントリー（西武・金子・東金子・宮寺・二本木）

開催日：9月21日(土)
会場 ： 総合仏事グループ いるまや メモリーホール元加治
世帯数：81世帯 （利用総人数 322名 子ども167名）

アンケートで日曜日開催を希望する方が多かったので、
日曜日の倉庫受け取りなどを実施しました。
車などがなく会場にこられない高齢者の方の当日配達３世帯、
最寄りの場所配達２世帯、
22日(日)受け取り10世帯、24日(火)受け取り１世帯でした。

【今回初めてパントリーを行った
メモリーホール元加治】

寄贈された絵本を子ども達に
選んでもらうことができました。

フードパントリー活動への協力企業・団体（順不同・敬称略）

総合仏事グループ いるまや ・ フジパン(株)武蔵工場
コストコホールセールジャパン(株) ・ セカンドハーベストジャパン・
埼玉フードパントリーネットワーク ・ 全国フードバンク推進協議会

【助成金の活用】（フードバンク活動にあたり以下の助成金の活用をさせていただいております）
第13回赤い羽根「つながりをたやさない社会づくり」 ・ 塩沼亮潤大阿闍梨基金

TUNAGARUフードパントリー

フードバンクいるまの地区パントリーの一環として、TUNAGARUが開催されました。
９月１３日(金) 長泉寺 35世帯（子ども66人）
９月２４日(火) 向原団地 17世帯（子ども31人）

【TUNAGARUパントリー】

ハートフルいるまNo.11 【靖和会入間つつじの園】

毎週月曜日の午後、フードバンクいるまの倉庫作業に職員２名の方がお手伝いに来て下さいます。今回はその派遣元、宮寺の『社会福祉法人 靖和会入間つつじの園』にお伺いし、吉田施設長と介護職中島リーダーからお話を伺いました。

お付き合いの始まりは、コロナ渦真っ最中の2021年夏、夏休みにパートさんが子どもを預ける場所が無く、同所では打開策として長期休みの間施設内で子ども預かりサービスを開始。預かりサービスをやっていく上で、地域のボランティアとして、学習支援や子ども食堂の団体、そしてフードバンクいるまとも関わりを持つことにつながっていきました。

その後、フードドライブの拠点、倉庫への人的支援、ミニパントリーの開催場所の提供と支援活動を広げて下さっています。もともと高齢者の介護施設である同所ですが、地域に根差した施設を目指す思いから、職員の子ども預かりとして開始したこの活動を、近隣の小学生まで広げています。子どもたちには車椅子操作方法の講習を行い、車椅子マイスターの証明書を発行したり、地域包括支援センターとコラボして認知症サポーター講座を実施したりと、他ではできない独自の取り組みをされているのは流石です。また、学習支援を通した子ども達の支援の場「こども☆チャレンジ広場宮寺」(毎週土曜日)など、地域のボランティアに場所の提供もしています。

フードバンクへの人的支援は、年間スケジュールの中でシフトを組んで実施されている事から、職員が新たな気づきを感じたりする大切さを大事にし、地域に根ざした活動を広げて行く事につなげていきたいとの熱い思いが伝わってきました。又、施設のお年寄りが子ども達に車椅子を押してもらいながら一緒にお散歩する姿、にぎやかな笑い声が聞こえてきそうです。年齢差のある中でのコミュニケーションを身近に感じながら過ごす時間の大切さ。暖かくて優しい思いやりはこう言う中で自然に育っていくのだと改めて思った一時でした。福祉を事業としてだけでなく、大きな意味で捉えている取り組みの広がりがとても楽しみです。素敵なお話ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

【左から芹澤氏、渡辺氏、中島氏、吉田施設長、遠藤氏、江川氏、門間氏、小林氏】